



たんぽぽだより

令和5年1月19日
川口市立舟戸幼稚園
年中たんぽぽ組

「あけましておめでとうございます！」と、きらきとした笑顔と元気な挨拶で新年がスタートしました。子供たちは、園生活のリズムを取り戻し、「一緒に大縄しようよ」と遊びに誘い合ったり、水栽培のヒヤシンスのかわいいつぼみを見て「いつ咲くのかな？」と楽しみにしたりするなど、季節を感じながら元気一杯に過ごしています。

3学期は、友達との関わりが深まり、幼稚園生活が充実する時期です。子供たちがさらに楽しく園生活を送り、年長組への進級に期待がもてるように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

今学期も保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



お正月遊び



昔から受け継がれてきたこま、凧揚げ、かるた、すごろく、だるま落とし、福笑い、羽根つきなどのお正月遊びに興味をもって遊んでほしいと願い、お正月遊びを楽しめるよう環境を準備しました。凧揚げでは、簡単につくれるビニール凧や、クルクル回転凧など様々な形の凧があることを知り、絵を描いたりハサミで切ったりして、つくることを楽しみながら元気に園庭を走って凧揚げを楽しんでいます。かるたやトランプ、すごろくなどでは、遊び方やルールを共有しながら、遊びを進めています。後から仲間入りした友達に遊び方を教えたり、誰がたくさん札をとったか数を数えたりして、ルールを守って遊ぶ楽しさを感じたり、勝った嬉しさ、負けた悔しさを味わったりしながら遊んでいます。羽根つきでは、まだ羽をつくことが難しいと思い、羽の代わりに風船を準備しました。何回連続で風船をつけるか夢中になっています。

この時期ならではの遊びを通して、自分なりに考えたり、友達の考えを受け入れたりして、遊びを進める楽しさを十分味わえるようにしていきたいと思っています。ぜひ、ご家庭でもいろいろなお正月遊びを楽しんで欲しいと思います。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の『健康な心と体』『協同性』『道徳性・規範意識の芽生え』『数量や図形・様式や文字などへの関心・感覚』につながる姿が見られます。

2月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 遊びの中で、イメージを膨らませたり表現したりすることを楽しむ。
- 友達や年長児の遊びや生活に興味をもち、一緒に遊んだり自分なりにやってみたりすることを楽しむ。
- 冬から春への自然の変化に気づき関心をもつ。



☆お願い☆

雪が降った場合は、手袋・防寒着（ジャンパーなど）・長靴 を用意してください。また、雪遊びで濡れてしまうことも多いので、着替えも必ず用意しておいてください。

